

天沼中だより

令和2年3月19日
杉並区立天沼中学校

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumachu/>

教育目標 自主・自律・共生

令和元年度 第七十一回 卒業式式辞

校長 水野 英利

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大という予想もしなかった出来事により、三月二日からの休校、そして今日の卒業式も感染防止のため時間短縮や参加者の制限を余儀なくされました。たくさんのご家族の皆様やご来賓、そして後輩である在校生の参列なしで挙行することは、本当につらい気持ちでいっぱいです。しかし、いつもと違うとはいえ、こうして卒業式ができることを私たちは喜びとして受け止め、規模は縮小されても皆さんへの思いは変わらないと、先生方主事さん方全員が思いを込めて準備をしました。これまでの皆さんの学業に対するたゆまぬ努力と一〇六名全員が自らの進路を切り開くことができたことを心から讃えたいと思います。

さて、振り返れば皆さんは、とても個性が豊かで、自分の考えをしっかり持ち、習得する力が高い学年でした。入学したてのフレンドシップスクールでは、集団行動での五分前行動に初めは悪戦苦闘していましたが、宿泊のわずかの期間で誰ともなく声を掛け合い、帰るときには当たり前のように行動できるようになりました。その後も個人が目標をしっかり定め、部活動に懸命に取り組んだり、積極的に言霊を暗唱したり、ボランティアなどの自主的な行動もたくさん行ってきました。その時折に、自分を主張するでもなく、さりげなく良いことをする、そんなクールさも見えました。運動会での応援や音楽発表会での盛り上がり、郷中道徳や舞台、ダンスの発表会などは豊かな個性を知るに十分でした。

こうした意欲的な学校生活は、大人への階段を少しだけ早く登っていたのかもしれませんが、そう思わせたのは保健室の利用頻度を聞いた時です。自分の考え、自分の思いが共感には至らず、そのわだかまりがあつてか、不満がたまり、行く先は保健室。皆さんの学年は保健室利用が最も多い学年でした。自分の思うようにならないとき、また、異論が生まれ自分を否定されたように思ったとき、どうやって自分をコントロールしたらよいのでしょうか。これは、これからの時代を生きる皆さんにとってとても大切なことです。

皆さんは、それぞれがすてきな個性を持ち、そして個人の能力にも優れています。これからの時代、その個の力は大変重要であり、様々なスキルを身に付けることによって変化の激しい時代を乗り越えられるように、個人の力には限界があります。かといって、長いものに巻かれると言っているわけではありません。個性の違う者同士が奪い合うのではなく、わかち合い、つながり合うことで大きな力が生まれるということなのです。ですから、意見が衝突したり、自分の思うようにならないときこそ立ち止まって考えてください。自分がしたいこと、実現したいことは何なのかを。すると、あなたの物差しがぐっと広がるはずです。個を結びチームとなって問題解決にあたること、それが行き詰った自分の心を開放し、困難な問題を乗り越える力になることを覚えておいてほしいのです。

さらにもう一つ。皆さんは義務教育九か年の入口と出口で大変大きな経験をしました。小学校の入学時は、東日本大震災直後でした。そして今回の卒業式は新型コロナウイルス感染の緊急事態。でもこれを通り越すと、皆さんは思わぬでください。貴重な経験をしました。あの時を忘れない。皆さんはこの経験から何かを学んでいるはずです。東日本大震災で被災された方は多くのものを失いました。しかし、失ったことにより学んだことも多かったといえます。人々はその時考えました。自分にできることは何か。多くの支援が世界中から集まりました。さらに、自分にしかできないことはないか。皆さんが一年生の時に聞いた防災講話で、靴屋を営む、「ちょんまげ隊」の隊長さんがあったの靴を車に積んで被災地を目指したことを覚えていてほしい。うか。天沼中学校を卒業する皆さんには、この、自分しかできないことが必ずあります。なぜなら、皆さんが「自主・自律・共生」という教育目標の中で育ったからです。これは他の中学生とは決定的に違うところであり、私たちや私にしかできないことを気づかせてくれる大切な理念です。どうかこれからの中学生としての誇りを胸に、主体的に行動し共感のできるやさしい人であり続けてください。

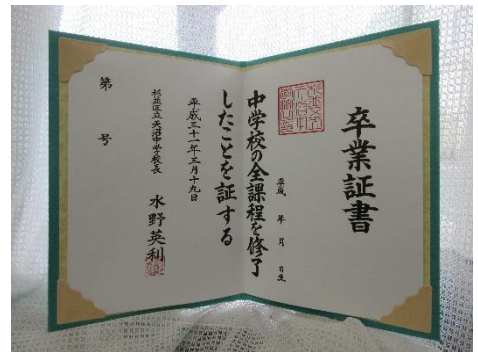
令和の時代を皆さんに託し、式辞といたします。

令和二年三月十九日

祝 * ご卒業

卒業生の皆様、保護者の皆様、9年間の義務教育を終え、それぞれの未来にはばたく日が近づきました。ご卒業、おめでとうございます。

今年度から、卒業証書筒をやめ、フォルダー式に変わります。さわやかな青竹色の表紙です。末永く大切にしてください。



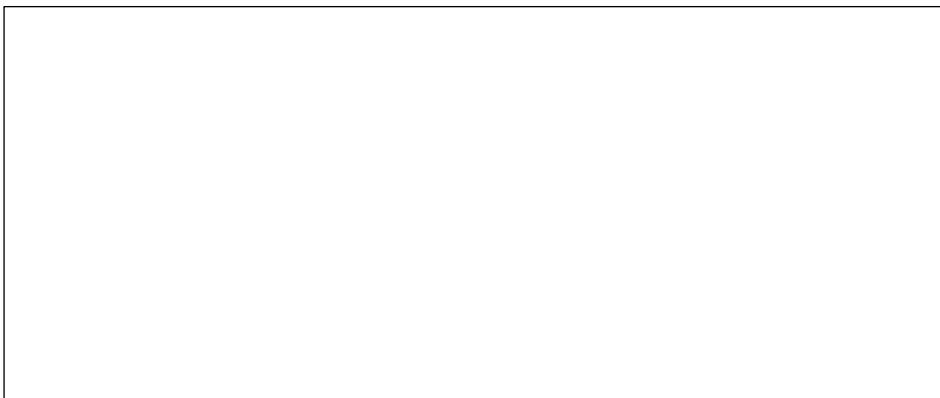
令和元年度 第71回卒業式次第

ご来賓、地域の皆様にはご参列いただけず、在校生も参加しない卒業式となりました。保護者の方々にも1生徒1名のみ、という願いをさせていただきました。予行練習もできない中で、PTAのマチコミメールなどで配信をお願いして、各自に練習しておいてもらう形になりました。以下、式の内容をお伝えいたします。

例年は、在校生が朝、卒業生に胸花をつけるのですが、在校生は登校できません。教職員総出で、一人一人に花をつけました。(花は、学年の先生がデザインを選びました。)学年での表彰式のあと、わずかな時間で式の練習をしました。保護者の方々が入場され、教員が作成した「3年間思い出のスライド」を上映したあと、体育館換気のため、暗幕や窓を開けてピアノ伴奏「桜散る頃」の録音が流れ、卒業生106名が入場しました。式に先立って、区栄誉顕彰、体育優良生徒、優良卒業生の表彰が行われました。吹奏楽部の代わりに国歌は音楽の宇高先生が伴奏。校長式辞の後、呼名と卒業証書の授与。校歌は在校生の指揮伴奏で全校生徒が最後に一緒に歌うはずだったのですが、急きょ3年生に指揮伴奏を依頼し、卒業生と教員とで歌いました。例年の半分の時間で式が終わり、「旅立ちの日に」のピアノ伴奏とともに退場となりました。卒業アルバム、学校から渡された書類、PTAから贈られた卒業記念品、ボランティア部からのプレゼントなど、たくさんの荷物を配る時間も惜しく、PTAにお願いして布バッグを購入し、各自の持ち物を教員ですでにセットしておきました。みんなおそろいのバッグを持って、校庭に集合。花道を歩いていきました。



<準備、練習をしてくれていた言葉の代表、合唱の指揮、伴奏者>



表彰 (各賞受賞者の紹介は敬称を略させていただきます)

杉並区文化栄誉顕彰 「税に関する標語」

全国間税会総連合会入選により、杉並区より表彰されました。

体育優良生徒表彰

※体育、スポーツ活動において秀でた技術を有し、学業が優秀で学習態度、出席状況の良好な生徒で、スポーツ精神においてほかの生徒の模範となる生徒が推薦されました。

優良卒業生徒表彰

※学習に対する意欲及び成果をものづくりをとおして発揮し、さらに卒業後の進路にも目的をもって産業の発展に寄与することのできる生徒が推薦されました。

天沼中ボランティア大賞

※この賞は、天沼ボランティアシップの精神に基づき、校内外の活動に積極的に参加した生徒を1名推薦しました。目立たない場面でも、学校や周囲の人のために進んで仕事をしてくれた生徒への感謝をこめて贈られました。

杉並区中学校書初め展出展者表彰

杉並区青少年善行表彰

(青少年野球大会でのボランティア活動)

(ふれあい運動会ボランティア活動)

※地域活動に尽力した生徒に対し、地域の方から推薦され、3月8日に表彰される予定だった生徒です。学校を通じでの表彰となります。

ことだま名人

KOTODAMA マスター

防災に関わる作文コンクール 優秀賞

「後悔 先に立たず」

防災標語コンクール 入選

「たくわえよう 知識と食糧いますぐに」

次点 少しでも揺れ感じたら安全行動
日ごろから地域の関わり大切に
備えこそ未来を守る最後の手
見直そう倒れてきそうな部屋の家具



4月から天中同窓生

本来、都筑淳一同窓会会長様から、予行練習の後に同窓会入会についてご説明がある予定でしたが、予行練習が中止になったと同時に、入会のお話もなくなりました。そのため、まちコミメールにて入会についてのお知らせをいたしました。卒業生の皆さんは4月から天沼中の同窓生となります。ずっと、天沼中学校を支え、見守ってください。

また、時々、学校に顔を見せてください。ただ、「社会人マナー」として、あらかじめ電話で訪問のお約束をしてから、来てくださいね。

レスキュー隊修了式

3月5日、杉並区中学生レスキュー隊の今年度の修了式と訓練も中止になってしまいました。3年間、がんばってくれた3年生、ありがとう。毎年行っていた校内修了式もできませんでしたが、3年生代表には卒業式前に修了証と盾(3年間所属した隊員)をお渡ししました。今後の地域での活躍、ボランティアマインドをこれからも大切にと期待しています。

令和元年度 天沼中レスキュー隊

★印は3年間所属した隊員です。

卒業式を前に・・・

校内の風景を撮影しました



ボランティア部からのプレゼント・3年の先生からのメッセージも。



PTA からの記念品。フォトフレーム時計です。

Photo frame clock

卒業生保護者の皆様

本日はおめでとうございます。異例の形の卒業式となりましたが、ご理解ご協力ありがとうございました。慌ただしく配布物も渡しました。4月以降のことまだまだはっきりとはわかっていない状況です。ですから、卒業してからでも学校から何らかのご連絡をする必要があるかもしれません。PTA 役員会では、4月末まで、まちコミメールを送信できるようにご配慮いただいております。ありがとうございます。

卒業生の前途に幸多かれとお祈りいたします。



三々五々、登校した在校生がメッセージを書きました。